電気と私

静岡県立掛川工業高等学校
電子電気科
1年
坂部真梧

自分にとって電気とは何か考えてみたところ、電気は日常生活にはなくてはならないものだと思いました。家で使う家電製品は電気によって動き生活を便利なものにしています。

例えば自分が毎日使うスマホも充電してスマホを使用することが可能になります。

そんな私たちの生活と電気とは切っても切れない縁があります。しかし、電気は無限大にあるわけではありません。エネルギーは有限であるということを忘れてはいけません。

電気は、火力発電や水力発電などがあります。資源や環境など様々な課題や問題もあります。資源には限りがあるし、ダムをつくれば環境にも自然破壊に繋がっています。そんな中で私たちが考えなければいけないのが節電です。身近なことから電気を大切にすることができます。例えば、照明を出かけるとき

には必ず消すようにしたり、電気を無駄遣いしないように日ごろから意識するようにしたりと、小さいことではあるけれど、それが電気を大切にすることに繋がります。

これからの社会には、再生可能エネルギーが重要になってくると思います。風力発電や太陽光発電など環境にやさしく、自然のエネルギーを活用していくべきだと思います。電気のことを考えるということは、環境のことを考えることにもなります。これからの将来を考えることにもなります。私たちが普段使っていることにもなります。電気の大切さを確認して、これからみんながもっと電気を大切にしていけばよりよい社会になっていくと思います。

世界には電気のない暮らしをする人もいます。そんな人たちのことを考え、電気がどれだけ大切なものなのか、見つめ直してほしいと思います。